



万葉歌人 山上憶良と秋の花

秋草の花が咲き乱れている野の様子を「花野」といいます。黄色の花が目立つ春とは違い、秋はいろいろな色彩の花が咲き競います。



ヤクシソウ

狭山丘陵でも、アキノタムラソウ、ヤブランは紫色、クズ、ミズヒキは紅色、ヒヨドリバナ、シラヤマギクは白色、ヤクシソウ、キンミズヒキは黄色など、華やかな色彩の花野になります。野や林の濃い緑色を背景にして、より魅力的に引き立たせようとした花の色は、花粉を運んでくれる昆虫たちとの進化の歴史を物語っています。

秋の花といえば、秋の七草が有名です。これは、万葉歌人の山上憶良が秋の野の花について詠んだ次の2首の歌によるものです。

秋の野に咲きたる花を指折りて かき数ふれば七種の花
萩の花尾花葛花などしこの花 女郎花また藤袴朝がほの花

七種とは、ヤマハギ、ススキ(尾花)、クズ、カワラナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウ(朝がほ)を指します。

山上憶良は七草ではなく、なぜか「七種」と表記しています。ヤマハギが草本ではなく木本にあたることを意識した憶良の文学者としてのこだわりかもしれません。ちなみに草冠に秋と書く「萩」は、中国の漢字ではなく、後に日本で作られた国字です。万葉集の約4,500首の歌には、160種類の植物が詠まれています。中でもハギが一番多く141首あり、次に多いサクラは50首にすぎません。万葉人には、ヤマハギが最も親しまれていた花だったからでしょう。

狭山丘陵の花野では、誰もが万葉歌人になれる。この秋は、皆さんも自分が選ぶ七草、あるいは七種を狭山丘陵で探してみたいかがでしょうか。

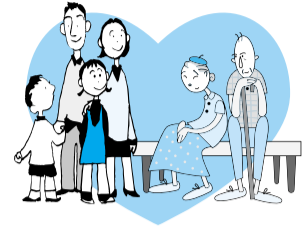
【申し込み・問い合わせ】

狭山丘陵いきものふれあいの里センター(荒幡782/☎939-9412/
<http://www.pref.saitama.jp/A09/BD00/ikimono/ikimonotop.htm>)
◎毎週月曜日は休館日です。ただし、9月24日(休)は開館し、18日(火)、25日(水)、26日(木)は臨時休館します。

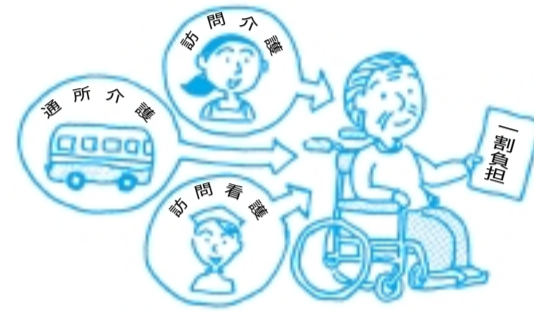
9月の自然観察会 《初秋を彩る野草》

とき 9月15日(例)/午前9時30分～午後0時30分
集合 水天宮下バス停
持ち物 筆記用具、虫よけ。お持ちの方はポケット図鑑など

なぜ?なに? 介護保険 ②⑥



Q: 私の介護保険料は、年金から直接差し引かれています。先日、平成13年度介護保険料決定通知書が届きました。この通知の下の方に翌年度特別徴収仮徴収額のお知らせとありますが、仮徴収とはどういうことですか。



A: 介護保険料は、年度ごとに住民税の課税状況や所得金額によってその段階が決まります。前年中の所得金額などにより住民税額が決定されるのは、毎年6月初めです。

このため、年度ごとの介護保険料の算定に

つきましては、年度前半の年金の定期払い月(4・6・8月)までは、前年度の2月の保険料と同額を仮に徴収し(年金から天引き)、年度後半の年金の定期支払い月(10・12・2月)に確定した年度全体の保険料額から仮徴収額を差し引いた分を徴収することになります。

Q: 修正申告や所得金額の更正などにより介護保険料額が変更になったときは、どうなりますか。

A: 修正申告や所得金額の更正などにより介護保険料の段階区分が変わり、保険料額が変更となったときは、次のようになります。

- ①特別徴収(年金から天引き)の場合
 - ・増額の場合…特別徴収の額はそのまま増額となった保険料額を別に送付する納付書で納めます。
 - ・減額の場合…特別徴収が中止され、別に送付する納付書で納めます。
- ②普通徴収(個別に納付書で納付)の場合
 - ・増額の場合…別に送付する増額分の納付書とあわせて納めます。
 - ・減額の場合…到来する納期分から減額された納付書で納めます。

介護保険についてわからない点などがありましたら、介護保険課へお気軽にご相談ください。

問い合わせ 介護保険課(☎998-9420)

小児科医療相談室 Q&A



Q: 5か月の女児のことで相談します。オムツを替えるときなど足の開き方が固いような気がします。左右の太もものしわの数も違い、気になるのですが、検診では特に指摘されませんでした。もし医者にかかるのであれば小児科でいいのでしょうか?

A: 先天性股関節脱臼を心配されているようですね。先天性とありますが、生まれてすぐに分かるものは少なく、多くはもともとやすい因子を持つものに出生後のよくない環境が重なって脱臼になると考えられています。

なりやすい因子には、女の子、最初の子、家族にいる、骨盤位で生まれた等があります。よくない環境とは、赤ちゃんの両足を閉じた姿勢で抱く、足をひっぱってオムツ交換をする、足が自由に動かないほどオムツをきつくする、自然な姿勢(手はW型、足はM型)で寝かせない等です。

新生児期には、オムツ交換のときなどに股の開きが多少悪いかと感じるくらいです。生まれて2~3か月になってくると開きの悪さを強く感じるようになります。泣いているときは筋肉の緊張が影響するため、普通でも固いと感じることがあります。

あお向けで寝たときに顔を必ず右か左のどちらかに向ける赤ちゃんがいます。特に生まれてから2週間以内に頑固に顔を一方に向けるような場合は、向いた方向と逆の股関節に脱臼は起こりやすいとも言われています。

ご質問にある太もものしわの数の違いも認められますが、これがあれば脱臼があるというほどの信用性は高くありません。それよりも、寝ている姿勢で両膝を立てたとき、膝の高さの違いの有無をみることに信頼性があります。



ご質問の内容からは股関節脱臼の可能性は否定できませんので、6か月になる前に小児整形外科の先生に診てもらったほうがよいでしょう。

治療は新生児期にはなるべく上記の環境因子を排除して予防に努めることです。3~6か月ごろが治療にとって最適な時期とされており、リーメンビュールという支持体で整復を促します。これでもうまくいかない場合、間をおいてもう一度リーメンビュールをつけるか牽引療法が行われます。保存的な治療で治らない場合は、手術を行います。股関節脱臼の治療が終了しても、成長とともに股関節の形態は変化するため、最終的には16歳ごろまで診てもらう必要があります。

お子さんに関する相談に広報紙上でお答えします。相談は郵便や下記のアドレスで随時受け付けています。
あて先 〒359-0025 所沢市上安松1224-1
所沢市市民医療センター・小児科相談係
アドレス yamachan@tokorozawa-iryuu-center.jp



▶夏休みに新潟に行ってきました。1軒家を借りるのですが、近所のおばあちゃんが、決まってトマトやきゅうりを届けてくれます。海や川の自然と村人の人情に包まれ、幸せな気分になります。(♥)
▶夏から秋への…といえば能登半島。この時期に一周したことがあり、「猫の目」という奇妙な地名に出会った。昔、人里離れて民家2軒しかなく、その灯りが遠くから猫の目に見えたそう。(♣)
▶息子がサッカーの合宿に行ってきた。合宿は3泊4日。一人で行かせたことが無かったので少し心配だったが、親の心配をよそに、息子は楽しそうに帰ってきた。来年はくっついて行こうかな…。(◆)